



資料提供	
令和8年8月21日	
担当課 (担当者)	スマートイノベーション推進室 (鳥飼・松尾)
電 話	30-8288(内線:7516)

鳥取市内企業向け「第2回自然資本産業セミナー」開催について

鳥取市は、内閣府から「SDGs 未来都市」の認定を受け、SDGs の理念に基づき、経済・環境・社会の3つの側面での取組を進めています。

この一環として、地域課題の解決と持続可能な産業の創出を図るため、豊かな自然環境を保全・活用し、産業として育成・振興する取組を進めています。

具体的には、「鳥取市自然資本産業誘致・振興事業」として、令和7年度から令和9年度まで、気高町日光地区における自然環境や地域文化に関する調査検討および、自然資本をテーマとする起業家育成プログラムの開催に取り組みます。

このたび、鳥取市内企業を対象に、自然資本を活用した新しい産業を創出するためのセミナーを開催しますので、お知らせします。

記

(1) 自然資本産業セミナー概要

日 時：令和8年8月28日(金) 15時00分から17時00分

会 場：鳥取市民交流センター(麒麟 Square) 多目的室1

対 象：鳥取市を中心とした県内土木・建設・建築業の方々

参 加：事前申込制

主 催：鳥取市自然資本産業創造協議会

※鳥取市自然資本産業創造協議会は、本事業推進の中核となる組織で、鳥取市ほか産官学金+地域の関係者、計10者で構成されています。

(2) 講師

講師 中村 圭吾 氏



国立研究開発法人土木研究所 流域水環境研究グループ長

(島根大学/東京理科大学 客員教授)

1971年三重県紀北町生まれ。94年大阪大学工学部土木工学科卒業後、建設省(現・国土交通省)に入省。

土木研究所河川環境研究室、スイス連邦工科大学客員研究員、福井河川国道事務所長、土木研究所河川生態チーム上席研究員等を経て現職。ネイチャーポジティブ時代の建設・土木のあり方に関して講演等多数。

近著に「建設ネイチャーポジティブ」(日経BP社)

(3) 申込み・問い合わせ先

申込みフォーム <https://ncit.site/?p=545>

株式会社エーゼログループ 松崎 (wenli@a-zero.co.jp)

「環境対応」を、次の受注力へ。

自然を守るだけでなく、建設によって自然を良くする時代が始まっています。
ネイチャーポジティブ、グリーンインフラ、災害復旧、川づくり、資金調達一。
これからの土木建設事業を、環境と経営の視点で学ぶ2時間。

自然再生が 建設の仕事になる 時代

～建設ネイチャーポジティブについて～

講師：中村 圭吾（なかむらけいご）氏
国立研究開発法人土木研究所 流域水環境研究グループ長
（島根大学／東京理科大学 客員教授）



日時

2026年 8月28日（金） 15:00～17:00



会場

鳥取市民交流センター（麒麟Square）多目的室1
（鳥取市役所市民交流棟2階）



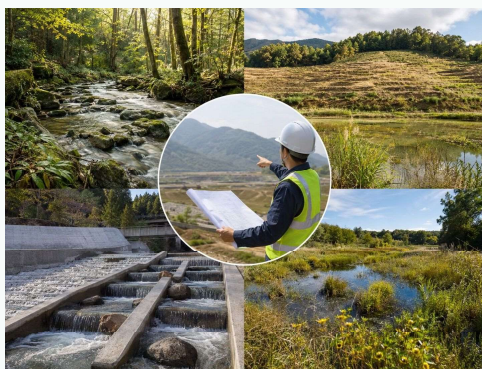
対象

鳥取市を中心とした県内土木・建設・建築業の方々



参加方法

事前申込制（裏面参照）



このセミナーでわかること

- ✓ 国際潮流としてのネイチャーポジティブ
- ✓ 英国の「生物多様性ネットゲイン」政策
- ✓ 治水・災害復旧を自然再生の機会に変える川づくり
- ✓ 資金調達と先進事例から、次の事業機会を探る

※ネイチャーポジティブ：自然環境や生物多様性の損失を抑えるだけでなく、回復・再生へと転換すること

自然再生が建設の仕事になる時代

～建設ネイチャーポジティブについて～



講師からのメッセージ

自然の損失を止め、回復させるネイチャーポジティブの時代に入りました。イギリスでは、建設時に環境を保全するだけでなく10%向上させることが法律で義務付けられました。国内でも河川では環境の定量目標が整備計画に記載され、ネイチャーポジティブな川づくりが進み、道路法は1条に基本理念が創設され「環境」が追加されました。各地ではグリーンインフラの名のもとに、自然の多様な機能を活用したインフラ整備が進みます。この新たな時代に建設は何ができるのか？一緒に考える時間を持ちたいと思います。



セミナー概要

- ✓ 国際的潮流としてのネイチャーポジティブ
- ✓ 建設後は自然が改善する英国の政策(生物多様性ネットゲイン)
- ✓ 日本で進むグリーンインフラの取組み:多目的インフラの時代
- ✓ 治水事業・災害復旧を自然再生の機会と捉える川づくり
- ✓ ネイチャーポジティブ時代の多様な資金調達
- ✓ 取組み事例(かわまち、休耕田、森林、魚道再生、ハビタットバンク)
- ✓ インフラマネジメントから国土資本マネジメントへ



こんな方におすすめ

- ✓ 土木・建設・建築分野の新たな事業機会を探している方
- ✓ グリーンインフラや自然再生に関心のある方
- ✓ 治水、災害復旧、地域づくりの新潮流を知りたい方
- ✓ ネイチャーポジティブ時代の官民連携を考えたい方



講師プロフィール

中村 圭吾 氏

(なかむら・けいご)

国立研究開発法人土木研究所
流域水環境研究グループ長
(島根大学/東京理科大学 客員教授)



1971年三重県紀北町(奇跡の川 銚子川の町)生まれ。1994年大阪大学工学部土木工学科卒業後、建設省(現・国土交通省)に入省。土木研究所河川環境研究室、スイス連邦工科大学客員研究員、福井河川国道事務所長、土木研究所河川生態チーム上席研究員等を経て現職。河川環境・流域環境を中心に、グリーンインフラ官民連携プラットフォームの技術部会長としてグリーンインフラの研究・推進にも取り組む。ネイチャーポジティブ時代の建設・土木のあり方に関して講演等多数。近著に「建設ネイチャーポジティブ」(日経BP社)。

お申し込み

下記フォームよりお申し込みください。

<https://ncit.site/?p=545>



こちらのQRコードから
スマートフォンからも
お申し込みいただけます

主催
問合せ先

鳥取市自然資本産業創造協議会
鳥取市自然資本産業創造協議会事務局
wenli@a-zero.co.jp (株式会社エーゼログループ 担当:松崎)

鳥取市自然資本産業創造協議会は、鳥取市 自然資本産業誘致・振興事業において設立された、鳥取の豊かな自然を地域の資本として捉え、自然環境の保全・再生と地域産業の発展を両立する、新たな事業や連携の創出を目指す産官学協働の協議会です。